

## 4年4組 学級活動実践報告

## 議題

## 友達カルタを作ろう

## 提案理由

2学期になって運動会や音楽会ではクラスが団結して練習をがんばりました。10月には特技発表会をしてみんなの知らなかったことを知ることができました。そこで友達を紹介し合えばもっとお互いのことを分かりあえて残りの2学期もみんな仲よくなれると思ったので友達カルタを提案しました。

## 話し合うこと①

カルタに何を書くか。

「いいところ」に賛成です。友達の良いところ分かるし、友達にこんな良いところがあるのだと分かってもらえたらうれしいからです。



「将来の夢」に賛成です。将来の夢を知らない人もいますし、友達の意外な面を知ることでもできそうだからです。

「好きな遊び」に賛成です。みんながどんな遊びが好きかを知ることができて、一緒に外で遊べるからです。

## 【決まったこと】

いいところ、将来の夢、好きな遊び

## 話し合うこと②

盛り上げる工夫

カルタをとった後、もう1度読むと、友達のよいところがよく分かっていいと思います。



チームごとに、タスキやバンダナをつけたり、折り紙でマークを作ったりして盛り上げるということですね。

## 【決まったこと】

メダルや優勝旗の作成、ハイタッチ、スペシャルタイム等

## 話し合うこと③

役割分担

インタビューの時に必要な係と大会当日の係を全員で分担しましょう。



## 【決まったこと】

司会、始めの言葉、終わりの言葉、読む人、メダル・優勝旗の作成等

## 指導・講評

元文部科学省視学官 宮川 八岐 先生・さいたま市教育委員会指導1課 主任指導主事兼係長 千明 勉 先生

- ・学級会ノートによりよい意見を書けるようにするためには、学級会オリエンテーションが大切である。
- ・教師は意見の分類をする必要がある。今回の議題では、柱②で「準備がいる物とその場でできる物」「会そのものの工夫とルール」に分けて話し合うとよいことを指導するとよかった。
- ・黒板記録が3名いるので、意見の聞き落としがなく、分かりやすく整理できていた。
- ・最後の先生の話は、「前回との比較」「次回の目標」「司会グループへのねぎらい」を簡潔に話すとよい。

## 成果と課題

○成果 ●課題

- 計画委員がその他の子どもたちの意見を把握していて、意見を引き出すことができていた。
- 提案理由に沿った意見の発表や、友達の考えを受けての賛成意見の発表ができていた。
- 友達の意見を聞いて、よりよい意見や解決案が出せるように、意見の分類や似た意見の統合ができるような指導を積み重ねていくとよい。